

MyLibrary

2 キャンパス図書館だより No. 6

静岡県立大学附属図書館
短期大学部附属図書館

Contents

- p1 新検索ページの案内
- p2 図書館でグループ学習①
- p3 図書館でグループ学習②
- p4 ニュース・学生の声

新しい検索ページ「文献検索ポータル」を公開しました

2 キャンパス図書館では、この3月から「文献検索ポータル」という新しい検索ページを公開しました。文献検索ポータルの検索システムは、簡単に外部データベースの検索を行えるだけでなく、県大・短大の蔵書検索の使い勝手も良くなっています。図書や論文など、文献検索のポータルサイトとしてご利用ください。

機能1 外部データベース検索

タブを切り替えて検索ボタンをクリックするだけで、他の図書館の蔵書や論文・文献情報を検索することができます。

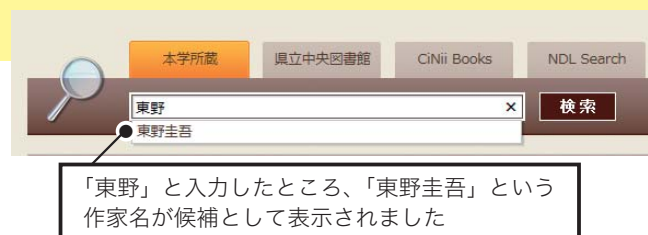
【検索できる外部データベース】

- 蔵書検索
 - ・県立中央図書館
 - ・CiNii Books
 - ・NDL Search
- 論文・文献情報検索
 - ・CiNii Articles
 - ・Google Scholar
 - ・JAIRO



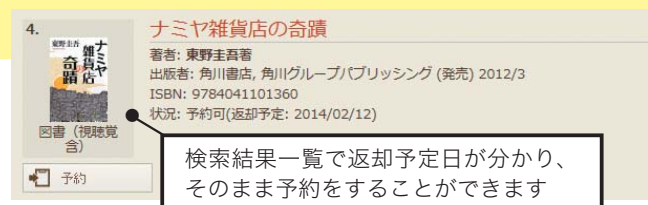
機能2 キーワードサジェスト機能

キーワードを入力すると、過去の入力履歴を参考にキーワード(の組み合わせ)候補が表示されます。



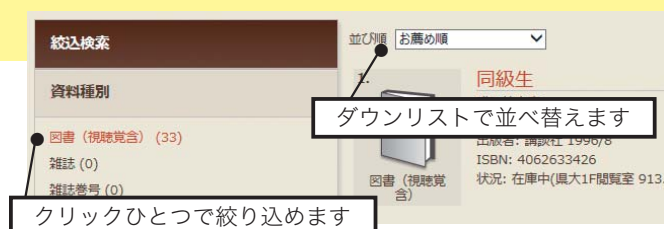
機能3 使いやすい検索結果一覧

本学所蔵の検索結果一覧は、詳細画面を見なくても利用状況が分かり、予約や取寄せが可能です。表紙画像が表示されるものもあります。



機能4 様々な絞り込み、並べ替え

本学所蔵の検索結果を様々な条件で絞り込んだり並べ替えたりすることができます。



図書館でグループ学習をしよう！



みなさんは大学図書館にどんなイメージを持っていますか？

「静かに1人で勉強や読書をする場所」というイメージの方が多くはありますが、近年、学生の学習スタイルの多様化に合わせて、グループでパソコンやホワイトボードなどを使いながら学習できるスペースを設置する図書館が増えています。

2キャンパス図書館でも、それぞれの学内者に向けて、多人数でグループワークを行えるスペース（左表参照）を設置したり、プロジェクタ（県大のみ）やノートパソコンを貸し出したりして、学生がグループ学習を行える環境を提供しています。どんどん活用して充実した学習・研究生活を送りましょう。

県大

- ・ セミナールーム
- ・ グループワークルーム
- ・ LC フロア

短大

- ・ グループ閲覧室 1, 2
- ・ グループAV閲覧室

グループで発想してみよう！

ブレインストーミング

世界的に活用されている多人数向けの発想法

【進め方】

4つのルールに従って自由に意見を述べてアイデアを出す。

【ポイント】

- ・ 高揚した雰囲気を作る。
- ・ テーマが広い時は複数に分け、最初はやさしいテーマで行う。
- ・ メンバーに下調べをしてもらう。（図書館を活用しよう！）
- ・ アイデアをカードや付箋紙に書くとKJ法などで使える。

4つのルール

- 1 判断延期・批判禁止
- 2 自由奔放・突飛さ歓迎
- 3 質より量
- 4 結合改善・他人に便乗

ブレインライティング

発言を伴わずに多人数でアイデアを発展させる発想法

【進め方】

- ① 6人のメンバーに対して1つのテーマを設定する。
- ② 3つのアイデアを5分で考えてシートに書き、左隣の人に回す。
- ③ 前の人アイデアを読んだ上で、5分で自分のアイデアを書く。
- ④ 書いたら左隣の人に回し、全員回るまで繰り返す。

【ポイント】

- ・ シートの記入欄を増やせば6人以上でもできる。
- ・ 空欄で回さず、発展させられない時は新たなアイデアを書く。
- ・ 前の人、特に最初のアイデアを発展させるつもりで考える。

テーマ	図書館の利用活性化策		
	アイデア A	アイデア B	アイデア C
1	資料充実	リフォーム	民間委託
2	小説多く	カフェ設置	ツタヤ委託
3	電子書籍	開放的空間	SNS活用
4	発展させた時は矢印を、新たなアイデアの時は線を境目に書く		
5			
6			

ウェビング法

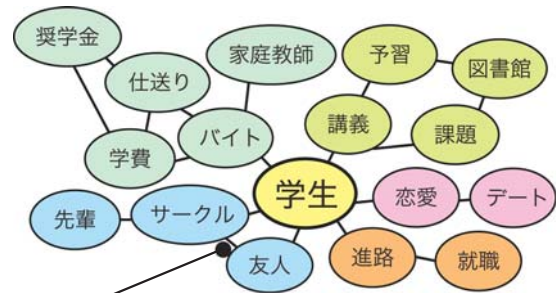
テーマを広げ、その広がりの中に関連性を発見する発想法

【進め方】

- ①テーマをホワイトボードや紙の中心に書く。
- ②その周囲にテーマから連想した言葉を書く。
- ③その言葉からさらに連想し、外側に言葉を書いていく。
- ④関連するものを、クモの巣（ウェブ）のように線で結ぶ。

【ポイント】

- ・テーマは出来るだけ具体的なものにする。
- ・カードや付箋紙に書いて、それを貼っても良い。



「学生」というテーマの広がり、その中から「学生の間関係」などのサブテーマを発見できる

マングラート

1人でも多人数でもできる手軽な発想法

【進め方】

- ①ホワイトボードや紙に3×3のマス目を書く。
- ②中心のマスにテーマを記入する。
- ③周りの8つのマスに連想した言葉や文章を書く。
- ④③で連想したものを新しいマス目の中心に書いて繰り返す。

【ポイント】

- ・8つのマスは必ず埋める。
- ・複数作成した時は、発想の広がりや深まりを確認しながら並べる。
- ・多人数でやる場合は、それぞれが作成したものを交換しあう。



「静岡県」というテーマから連想した「地震」を抜き出してさらに連想していく

KJ法

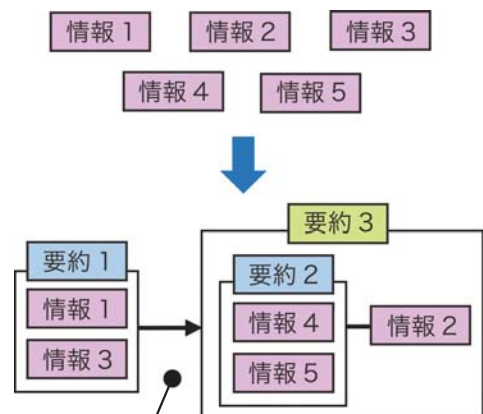
情報やアイデアの組み合わせを通して新たな発見を得る発想法

【進め方】

- ①調査や発想法で集めた情報やアイデアを1件ずつカードに書く。
- ②カードを並べてよく読み、似ているものをグループ化する。
- ③グループが出来たら、その内容を要約した表札カードを書く。
- ④表札カードを上にして束ね、②③を繰り返してまとめていく。
- ⑤まとめたものを紙やホワイトボードに配置し、図解する。
- ⑥図解から分かったことを文章化したり、発表したりする。

【ポイント】

- ・既存の概念ではなく、類似性を見出してグループ化する。
- ・余ったカードは無理にまとめず1枚を1グループとする。
- ・図解化では、グループを線で囲み、その関係性を図示する。



似ていると感じた情報をグループ化してまとめ、図解し、文章化する

《参考文献》

- 星野匡、『発想法入門』、第3版、日本経済新聞社、2005。
中西泰人、岩寄博論、佐藤益大、『アイデアキャンプ』、NTT出版、2011。
東千秋、柴山盛生、遠山紘司、『問題解決の発想と表現』、放送大学教育振興会、2004。

2 キャンパスニュース

県大図書館

■ 国立国会図書館のデジタル化資料が見られます

1階のデータベース端末2台で、国立国会図書館がデジタル化した図書や雑誌、博士論文をオンラインで閲覧することができます。利用できるのは県大所属の学生と教職員のみで、複写は著作権法の範囲内で図書館スタッフが行います。

国立国会図書館の蔵書検索システム等で、図書館送信参加館で閲覧できるデジタル化資料であれば、閲覧・複写ができますので、お気軽にカウンターまでお問い合わせください。

■ 図書館講座にぜひご参加ください

図書館の使い方や文献検索法、レポートの書き方など、学習・研究に役立つ技術を学べます。

今年度の開催予定は下の表のとおりです。詳しくはユニバメールや図書館 Web ページでお知らせします。みなさんにご参加をお待ちしています。

【前期】
図書館活用講座
データベース講習会
【後期】
図書館活用講座
データベース講習会
【随時】
オーダーメイド講習会

短大図書館

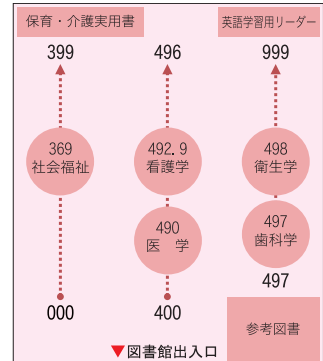
■ 閲覧室の図書の並び方が変わります！

県立大学附属図書館からの資料が移動予定のため、閲覧室の図書の並び方を変更します。

3列の書架のうち中央の図書を入れ替え、3列とも手前から奥へ図のような流れにしました。

図書の背ラベルの分類番号では、左は 000 (総記)、中央は 400 (自然科学)、右は 497 (歯科学) が一番手前の書架です。

図書の位置がご不明な時は、お気軽にカウンターへお問い合わせください。



■ 試験前の土曜日は、図書館で！

前期試験と後期試験・国家試験の前は、土曜の閉館時刻を平日より1時間延長(18時閉館)して、みなさんをサポートします。どうぞご利用ください。

■ やってみよう！図書館サポーター！

図書館では、お仕事を手伝ってくれるサポーターを募集しています。募集時期や人数、時間等についてのお問い合わせはカウンターまでどうぞ。

県大生の声

図書館講座の参加者アンケートから



【レポート作成基礎講座】に参加して

- ・レポートがどのようなものかよく分かった。感想文や作文との違いが分かってよかった。
- ・レポートの書き方が分からなかったので、とても勉強になった。

【日本語の文献を探す】に参加して

- ・今まで探し方がよく分からなくて、かなり損をしていたと感じる。検索の仕方が分かってよかった。
- ・論文を探すという、とても基本的な知識を得ることができた。
- ・とても役立つ講座だと思うので、ぜひ学生全員にうけてほしい。

静岡県立大学附属図書館

〒422-8526 静岡市駿河区谷田 52-1
TEL 054-264-5801 FAX 054-264-5899
<http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/>

静岡県立大学短期大学部附属図書館

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿 2-2-1
TEL 054-202-2617 FAX 054-202-2620
<http://oshika.u-shizuoka-ken.ac.jp/library/>